



公益社団法人山梨科学アカデミー

交流大会

参加費
無料

日時 令和7年12月1日（月）午後1時30分～

会場 バルクラシック甲府（甲府市丸の内1-1-17）

開式・挨拶

午後1時30分～午後1時35分

第30回山梨科学アカデミー賞・奨励賞受賞講演

午後1時35分～午後3時00分

山梨科学アカデミー奨励賞

- ◆ 「視覚のみに頼らない美術表現と触覚教育の探求」
山梨県立大学 人間福祉学部 人間形成学科 准教授 古屋 祥子 氏
- ◆ 「深層学習を用いた画像認識技術の医療・福祉、農業分野への応用研究」
山梨大学 大学院 総合研究部 工学域機械工学系
（メカトロニクス工学） 准教授 渡辺 寛望 氏

山梨科学アカデミー賞

- ◆ 「血小板活性化受容体CLEC-2の同定と病態生理学的役割の解明と臨床応用」
山梨大学 大学院 総合研究部 教授
医学部附属病院 検査部/輸血細胞治療部 部長 井上 克枝 氏

山梨県大村智人材育成基金

若手研究者奨励事業 第7回研究成果報告会

午後3時10分～午後3時55分

口頭発表（会場内にポスターを展示）

第23回山梨科学アカデミー児童・生徒科学賞
表彰式

午後4時05分～午後5時10分

特別講演

午後5時20分～午後6時20分

演題 「東日本大震災など災害の実態と教訓 ～ 次に備えるために」

講師 東北大学副学長 災害科学国際研究所 教授 今村 文彦 氏

いまむら ふみひこ

座長：（一財）北里環境科学センター名誉顧問 伊藤 俊洋 氏

情報交換会

午後6時30分～午後8時00分

公益社団法人山梨科学アカデミー 特別講演

演題 「東日本大震災など災害の実態と教訓 ～ 次に備えるために」

講師 東北大学副学長 災害科学国際研究所 教授 いまむら ふみひこ 今村 文彦 氏

座長：（一財）北里環境科学センター名誉顧問 伊藤 俊洋 氏

講演内容

今年は、広域で甚大な複合被害となった東日本大震災から15年が経過しようとしている。それ以降も自然災害が発生しており当日の経験や教訓を整理したい。その上で、首都直下地震、南海トラフ巨大地震の切迫性は高まり、各地域ではさまざまな自然災害や気候変動の影響が次々と起こっている中で、教訓を活かした防災対応や対策を強化していきたい。国民の中で防災への関心は高いが、意識や具体的な対策については課題が多い。そのため、自分事化や他分野とコラボした新しい防災・現在の取組を紹介したい。

講師経歴

山梨県甲斐市生まれ、甲府第一高校卒業、東北大学大学院工学研究科博士後期課程修了。同大学院工学研究科附属災害制御研究センター助教授、同教授を経て、2014年より2023年まで災害科学国際研究所長。2025年4月より副学長（社会連携・校友会・基金担当）。専門は津波工学および自然災害科学で、津波被害の軽減を目指し、津波予警報システムの開発や太平洋での防災対策等の研究を数多く実施。津波数値技術移転国際プロジェクトTIMEの代表。自然災害学会元会長、中央防災会議専門調査会委員、東日本大震災復興構想会議検討部会委員、など。現在、復興庁復興推進委員会委員長、一般財団法人3.11伝承ロード推進機構代表理事、土木学会副会長など。



研究内容

自然災害と地域で事前防災

趣味

歩くこと

- ◆申込方法 申込みフォーム(<https://forms.office.com/r/ymDugJRmyG>)
または下記申込書にご記入の上、FAXで送信、もしくは電話でお申し込みください。
当日受付も行いますので、直接会場にお越しいただいても構いません。

- ◆申込先 公益社団法人山梨科学アカデミー事務局（山梨県庁 まなび支援課内）
FAX：055-223-1516 電話：055-223-1312



申込みフォーム

会社名 所属名称等		メールアドレス 電話番号				
参加者氏名	職名	受賞講演	若手研究者 成果報告	児童・生徒 科学賞 表彰式	特別講演	情報交換会

↑ 参加ご希望の箇所に○印をご記入願います。